第8章　第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略

1　総合戦略策定の趣旨

国では、人口減少・超高齢化という日本が直面する大きな課題に対し、地域がそれぞれの特徴を活かし、持続可能な社会を創生するため、平成 26 年に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。

東金市では、このような国の方針を受け、人々が安心して生活を営み、子どもを生み育てられる社会環境をつくり出すことで、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を作り出すことで、「まち」に活力を取り戻し、人口減少に歯止めをかけることを目的に、地方版の総合戦略として「東金市　まち・ひと・しごと総合戦略」を平成 27 年に策定しました。

2　総合計画における位置付け

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、市の最上位計画である総合計画の中のまち・ひと・しごと創生に資する施策や事業を総合戦略事業として位置付け、総合戦略独自の指標である「重要業績評価指標（KPI）」をもって、実施するものです。

総合戦略は、平成 27 年の策定時には個別計画として策定しましたが、戦略の方針や事業計画など整合性を図っていく必要があるため、第４次総合計画の策定に合わせ、基本計画において示すものです。

3　基本目標と施策

本市の目指すべき将来像である「豊かな自然と伝統を守り　未来へ続く My City 東金」を実現するための戦略的展開に向けたキーワードを踏まえ、次の５本柱からなる基本目標を設定します。

（1）げんきづくり　for Vitalization　～魅力あるまちをＰＲして人を呼び込む～

（2）みらいづくり　for Next Generation　～子育てのしやすい環境を整える～

（3）まちづくり　for Comfortable City　～住みやすいまちをつくる～

（4）しごとづくり　for Job Creation　～地域に雇用を創出し働きやすい環境を整える～

（5）きずなづくり　for Friendship　～地域間の連携を目指して～

５つの基本目標に対する施策を以下のように定めます。

まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標	施策
（1）げんきづくり for Vitalization ～魅力あるまちをＰＲして人を呼び込む～	1　学園のまちの特色を生かし、市民と大学等教育機関が連携し、まちを活性化する。
	2　首都圏の近郊に位置する便利な立地特性を活かし、人が訪れたくなるような魅力をＰＲする。
	3　地域の魅力を高め、地域力を底上げして、まちを明るく元気にする。
（2）みらいづくり for Next Generation ～子育てのしやすい環境を整える～	1　安全面や経済面から子育て世帯を支援する。
	2　出会いから子育てまで切れ目なく支援する。
	3　教育・保育の現場と地域・家庭が一体となって子どもを育てる。
	4　働きながら生み育てやすい環境をつくる。
（3）まちづくり for Comfortable City ～住みやすいまちをつくる～	1　時代の変化に適応した安全で便利なまちにする。
	2　市民や来訪者など多様な人が集まる拠点や魅力スポットをつくる。
	3　市と市民が協働して安心して住み続けられるまちをつくる。
	4　快適な住まいの場を提供し、新たな定住者を迎え入れる。
（4）しごとづくり for Job Creation ～地域に雇用を創出し働きやすい環境を整える～	1　豊かな地域資源の活用や新技術の導入により、時代が求める産業を地域から生み出す。
	2　人の流れを促し雇用を創出する新たな産業の導入・育成を図る。
	3　多様な選択肢が可能となるような生活と仕事の両立に向けた取組みを進める。
	4　ニーズが高い健康・福祉部門を充実させながら雇用を創出する。
（5）きずなづくり for Friendship ～地域間の連携を目指して～	1　ともに生活する地域がひとつになり、水準を落とさずに効率的に運営する。
	2　便利で快適、安心・安全な暮らしを確保する地域のつながりと絆を深める。

4　実施計画事業

1 げんきづくり　for Vitalization

基本目標

～魅力あるまちをＰＲして人を呼び込む～

　将来にわたってまちの活力を維持するためには、東金市民が愛着をもって住み続け、また東金市に魅力を感じ、新たに住んでみたいと思う人を増やしていくことが重要です。
　そのため、“魅力あるまちをＰＲして人を呼び込む”をスローガンに掲げ３つの施策を推進します。

数値目標	基準値	目標値
東金市に「わたしのまち（My City）」といった愛着を感じている市民の割合	63.9%（R１）	70%（R７）

施策1

学園のまちの特色を生かし、市民と大学等教育機関が連携し、まちを活性化する。

　東金市と城西国際大学は、平成 25 年に包括連携協定を締結し、様々な分野で連携をはかっており、今後更に「げんきづくり」のための活力となりえる大学生を中心とした連携や、情報発信を進めていきます。また、市内には、３つの高等学校や農業大学校、高等技術専門校、特別支援学校なども存在しており、これらの特色ある学校の技術や若い力を「げんきづくり」に活用できる取組みも進めていきます。

総合戦略事業		
生涯学習講座事業	**資料－1の参考資料②…1ページ**	
数値目標	**基準値**	**目標値**
大学等と連携したイベントの参加人数	3,233 人（R１）	4,000 人（R７）
活気ある街だと思う市民の割合	26.2%（R1）~~―%（H 31）~~	60%（R７）

施策2　首都圏の近郊に位置する便利な立地特性を活かし、人が訪れたくなるような魅力をＰＲする。

東金市の位置的条件や道路交通網の利便性を「強み」として打ち出し、また自然・歴史・文化・産業などの情報を効果的に発信し、交流人口、関係人口、移住人口の増加に努めます。

総合戦略事業		
観光ＰＲ事業	**資料－1の参考資料②…2ページ**	
広報事業	**資料－1の参考資料②…2、3ページ**	
数値目標	**基準値**	**目標値**
観光入込客数	1,330,000 人（Ｒ１）	1,500,000 人（Ｒ７）
市ホームページの年間アクセス件数	400,000 件（Ｒ２）	420,000 件（Ｒ７）

施策3　地域の魅力を高め、地域力を底上げして、まちを明るく元気にする。

定住人口の減少に歯止めをかけるには、市外からの人の呼び込みのほかに、本市に住んでいる人が、将来にわたって住み続けることが重要と考えます。また経済面でのげんきづくりや、地域の活性化についても推進していきます。

総合戦略事業		
公民館主催事業	**資料－1の参考資料②…4ページ**	
地区公民館のコミュニティセンターへの転換の推進	**資料－1の参考資料②…5ページ**	
数値目標	**基準値**	**目標値**
区（自治会）の加入率	63.28%（Ｒ２）	70%（Ｒ７）
中央公民館利用団体者数	58 団体（Ｒ１）	67 団体（Ｒ７）
地区公民館利用団体者数	132 団体（Ｒ１）	136 団体（Ｒ７）

2 みらいづくり　for Next Generation

基本目標

～子育てのしやすい環境を整える～

人口減少社会の一つの要因として女性の社会進出などによる晩婚化・晩産化が考えられます。2018 年の厚生労働省の調査では、女性の初婚年齢は、29.4 歳で、1995 年の同調査は 26.3 歳でしたので、この約 20 年間に晩婚化が進んだ状況が伺えます。

そのため、“ 子育てのしやすい環境を整える ” をスローガンに掲げ、以下の４つの施策を推進します。

数値目標	基準値	目標値
この地域でこの今後も子育てをしていきたいと思う親の割合	90.5%~~（R 2）~~ （R1）	93%（R 7）

施策 1

安全面や経済面から子育て世帯を支援する。

安全で安心して子育てができ、また家庭の経済的な事情に左右されず、誰もが出産・子育ての希望を叶えられるための必要な支援を行います。

総合戦略事業	
子ども医療費扶助事業	**資料－1の参考資料②…6ページ**
児童館運営事業	**資料－1の参考資料②…6ページ**
放課後児童健全育成事業	**資料－1の参考資料②…7ページ**
保育所・認定こども園運営事業	**資料－1の参考資料②…8ページ**

数値目標	基準値	目標値
待機児童の解消	14 人（R 2）	0人（R 7）
学童クラブ入所待機児童数	5人（R 2）	0人（R 7）

施策2 出会いから子育てまで切れ目なく支援する。

人口減少の流れに歯止めをかけるためには、転入転出による社会増減の改善に加え、自然増減の改善も重要です。そのため、出会いから結婚・出産・子育てまで切れ目なく支援し、より多くの方が結婚・出産の希望を叶え、子どもを生み育てられる取組みを行います。

総合戦略事業		
母子健康診査事業	**資料－1の参考資料②…9ページ**	
母子健康相談・教育事業	**資料－1の参考資料②…10ページ**	
母子包括支援事業	**資料－1の参考資料②…11ページ**	
東金市子ども・子育て支援事業計画の推進	**資料－1の参考資料②…11、12ページ**	
数値目標	**基準値**	**目標値**
地域子ども・子育て支援事業の実施状況	5事業 ~~―~~（R２）	９事業（R７）
産後に助産師や保健師等からのケアを受けることができた者の割合	86.3%~~（R２）~~（R1）	90%（R７）

施策3 教育・保育の現場と地域・家庭が一体となって子どもを育てる。

全ての親が子育てに関する悩みや不安の解消を図り子育てができるよう、保育や教育の現場と地域や家庭が連携して、それらの不安の解消に努め、子どもたちの明るい未来や希望をもって子育てができる環境づくりを進めます。

総合戦略事業		
利用者支援事業（基本型・母子保健型）	**資料－1の参考資料②…14、15ページ**	
教育資源等の活用事業	**資料－1の参考資料②…16ページ**	
放課後子ども教室推進事業	**資料－1の参考資料②…16ページ**	
数値目標	**基準値**	**目標値**
放課後子ども教室に参加する児童の割合	34%（R１）	50%（R７）
長欠児童生徒数	128人（R２）	68人（R７）

施策4 働きながら生み育てやすい環境をつくる。

女性の社会進出が進む中で、子育てをしながら働きやすいまちづくりは、少子化対策として重要であり、将来にわたって持続可能な社会をつくる上でも有効です。

よって、子育てしながら働くことができる働き方改革を促進するなど、安心して子どもを生み育てながら働き続けられる環境づくりを進めます。

総合戦略事業		
幼保再編事業	**資料－1の参考資料②…17ページ**	
母子健康相談・教育事業	**資料－1の参考資料②…18ページ**	
数値目標	**基準値**	**目標値**
公立認定こども園に転換した施設	1施設（R2）	3施設（R7）
民間移行により開園した認定こども園	なし（R1）	1施設（R7）

3 まちづくり　for Comfortable City

基本目標 ～住みやすいまちをつくる～

　活力あるまちであり続けるためには、市外からの人の呼び込みを促進していくことはもとより、現在東金市に暮らしている人が暮らしやすいと感じられることが肝要です。
　そのためには、ソフト的な取組みのほか、道路交通網など都市基盤の整備も重要であり、“住みやすいまちをつくる”をスローガンに掲げ、以下の４つの施策を推進します。

数値目標	基準値	目標値
東金市に「住み続けたい」と感じている市民の割合	~~59.5%~~（R１） 62.7%	70%（R７）

施策1 時代の変化に適応した安全で便利なまちにする。

　今後の人口構造の推移を見据え、高齢者等に配慮した公共交通の利便性の向上や公共施設バリアフリー化の更なる推進が重要です。
　また、本市に甚大な被害をもたらした東日本大震災や令和元年台風 15 号などの災害を教訓とした防災体制の再構築など市民を守る取組みの充実を図ります。

総合戦略事業	
歩道整備事業	**資料－1の参考資料②…19ページ**
総合交通計画推進事業	**資料－1の参考資料②…19、20ページ**
デマンドタクシー運行事業	**資料－1の参考資料②…20ページ**
バス路線確保対策事業	**資料－1の参考資料②…21ページ**
乗り継ぎ拠点整備事業	**資料－1の参考資料②…22ページ**
自主防災組織育成事業	**資料－1の参考資料②…22ページ**

数値目標	基準値	目標値
市内循環バス合計年間利用者数（福岡・豊成路線合計）	15,489 人（R１）	18,588 人（R７）
東金市乗合タクシー年間利用者数	12,225 人（R１）	14,670 人（R７）
自主防災組織設立数	36 団体（R２）	41 件（R７）

施策2　市民や来訪者など多様な人が集まる拠点や魅力スポットをつくる。

本市が今まで以上に賑わい、活力のあるまちとなるため、県内有数の道の駅となった「みのりの郷東金」の更なるレベルアップや、既存の観光施設に加え、本市の誇りある歴史・文化芸能・スポーツなどの資源の掘り起こしと活用により地域の魅力を発信します。

総合戦略事業	
みのりの郷東金管理運営委託事業	**資料－1の参考資料②…23ページ**
みのりの郷東金発展事業	**資料－1の参考資料②…23ページ**
観光ＰＲ事業	**資料－1の参考資料②…24ページ**
文化財保護事業	**資料－1の参考資料②…24ページ**
スポーツ教室・イベント実施事業	**資料－1の参考資料②…25ページ**

数値目標	基準値	目標値
観光入込客数	1,330,000 人（Ｒ１）	1,500,000 人（Ｒ７）
みのりの郷東金利用者数	323,000 人（Ｒ１）	355,000 人（Ｒ７）
東金市デジタル歴史館アクセス累計数	104,000 ~~アクセス~~件（Ｒ２）	304,000 ~~アクセス~~件（Ｒ７）
東金アリーナ外３スポーツ施設の利用者数	236,378 人（Ｒ１）	280,000 人（Ｒ７）

施策3　市と市民が協働して安心して住み続けられるまちをつくる。

家族形態の変化による核家族化の進展は、近所付き合いの希薄化など地域課題の１つとなっています。

まちづくりを支える基礎・土台として、防犯・防災活動や高齢者支援活動等、幅広く行われている地域活動や市民活動などに対し支援を行います。

総合戦略事業	
地区振興協議会運営費交付事業	**資料－1の参考資料②…26ページ**
ふるさと納税を活用した地区交付金の支給	**資料－1の参考資料②…27ページ**
一般コミュニティ助成事業	**資料－1の参考資料②…27ページ**

数値目標	基準値	目標値
区（自治会）の加入率	63.28%（Ｒ２）	70%（Ｒ７）
ふるさと納税を活用した地区交付金支給額	377,000 円（Ｒ１）	600,000 円（Ｒ７）

施策4　快適な住まいの場を提供し、新たな定住者を迎え入れる。

新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化により、住居地選定の要件が首都近郊という「利便性」から地方の「安全安心」へのシフトがはじまり、またリモートワークも拡大しています。このような流れに乗り遅れることなく、本市への移住・定住者を支援する取組みを行います。

総合戦略事業		
住宅地形成推進事業		**資料－1の参考資料②…28ページ**
空家等対策事業		**資料－1の参考資料②…28ページ**
数値目標	**基準値**	**目標値**
空家	950 件（R 2）	現状維持（R 7）
転入者数	2,985 人（R 1）	3,300 人（R 7）

4 しごとづくり　for Job Creation

基本目標　～地域に雇用を創出し働きやすい環境を整える～

人口の社会増減を改善するためには、移住・定住はもとより、現在、市に住んでいる人が、住み続けていくことが重要であり、そのためには、本市を中心としたこの地域に安定した経済基盤を築くことが必要です。

そのため“地域に雇用を創出し、働きやすい環境を整える”をスローガンに掲げ、以下の４つの施策を推進します。

数値目標	基準値	目標値
仕事や余暇を過ごすなど生活する上で、東金市が「暮らしやすい」と感じている市民の割合	37.2%（R１）	60%（R７）

施策1　豊かな地域資源の活用や新技術の導入により、時代が求める産業を地域から生み出す。

本市は森林資源が豊かな丘陵部と農業の基礎資源である農地が広がる平野部があり、緑豊かな生活環境は、第一次産業の基盤となっています。

地産地消や食の安全への関心が高まる中、「道の駅みのりの郷東金」を拠点とした市内農産物や加工品の生産・販売を促進します。

また森林環境譲与税を活用し、森林整備の促進により林業を行いやすい環境を整え、市民が憩いと安らぎの場として享受できる空間をつくります。

総合戦略事業		
６次産業化推進事業		**資料－1の参考資料②…29ページ**
公共施設における木材利用の推進		**資料－1の参考資料②…29ページ**
数値目標	**基準値**	**目標値**
みのりの郷東金農業者市内出荷者数	128人（R１）	134人（R７）
公共施設における県産材の利用施設	―（R１）	５施設（R７）

施策2　人の流れを促し雇用を創出する新たな産業の導入・育成を図る。

地域の安定した雇用は、移住定住はもとより、結婚や出産･子育てにも大きな影響を及ぼすため、若い世代が働きたくなるような雇用の創出に努めます。
また学生に人気がある業種や、知名度の高い店舗の誘致など、学園都市の特性を活かしたまちづくりを進めるとともに、企業や店舗が進出しやすい環境整備を進めます。

総合戦略事業		
企業誘致推進事業	**資料－1の参考資料②…30ページ**	
産業用地整備事業	**資料－1の参考資料②…31ページ**	
スマートインターチェンジ整備事業	**資料－1の参考資料②…31ページ**	
数値目標	**基準値**	**目標値**
新規企業立地数	―　（R１）	10社（R７）

施策3　多様な選択肢が可能となるような生活と仕事の両立に向けた取組みを進める。

人口の自然増減・社会増減の改善を図っていくため、男女ともに子どもを生み育てながら、お互いにキャリアアップしていける「仕事と生活の調和（ワークライフバランス）」のとれた社会を目指します。

総合戦略事業		
放課後児童健全育成事業	**資料－1の参考資料②…32ページ**	
保育所・認定こども園運営事業	**資料－1の参考資料②…33ページ**	
男女共同参画プラン推進事業	**資料－1の参考資料②…34ページ**	
数値目標	**基準値**	**目標値**
待機児童の解消	14人（R２）	0人（R７）
学童クラブ入所待機児童数	5人（R２）	0人（R７）

施策4 ニーズが高い健康・福祉部門を充実させながら雇用を創出する。

高齢化の進展に伴い、ますます需要が高まる健康福祉や介護部門の職種に対応できる人材の育成に取り組んでいきます。

そのため、当地域の医療拠点である東千葉メディカルセンターにおいて不足している看護職の確保に取り組むため、城西国際大学と連携し、看護師を目指す学生に対し奨学金の支給などの支援を行います。

総合戦略事業		
医療センター推進事業	**資料－1の参考資料②…35、36ページ**	
看護師確保事業	**資料－1の参考資料②…36ページ**	
介護保険給付事業	**資料－1の参考資料②…37ページ**	
数値目標	**基準値**	**目標値**
看護師確保数	20人（R2）	20人（R7）
介護サービス施設数	19施設（R2）	21施設（R7）

5 きずなづくり　for Friendship

基本目標 ～地域間の連携を目指して～

少子高齢化や人口減少による社会課題の多様化と、対応する人材が不足する中において、持続可能な社会を維持・発展していくためには、市が単独で行うのではなく、地域間で連携した広域的な視点での取組みが必要となってきます。

また、消防や上水道などの広域行政のほか、地域医療の枠組みにおいても連携を進めていきます。そのため“地域間の連携を目指して”をスローガンに掲げ、以下の２つの施策を推進します。

数値目標	基準値	目標値
近隣市町との連携が進んでいると感じている市民の割合	15.6%（R１）	50%（R７）

施策1 ともに生活する地域がひとつになり、水準を落とさずに効率的に運営する。

平成 26 年４月に開院した東千葉メディカルセンターは、山武・長生・夷隅医療圏において、唯一の三次救命救急センターを有する病院であり、地域医療の拠点として重要な役割を担っております。

このような地域住民が安心して生活していく上で必要不可欠な医療を提供するため、持続可能な経営体制の構築を目指します。

総合戦略事業		
医療センター推進事業	**資料－1の参考資料②…38、39ページ**	
数値目標	**基準値**	**目標値**
地域中核病院の東千葉メディカルセンターを中心とした医療体制に満足している市民の割合	56.9%（R１）	60%（R７）

施策2　便利で快適、安心・安全な暮らしを確保する地域のつながりと絆を深める。

九十九里地域やちば共創都市圏といったスケールメリットを活かし、地域の魅力を発信するとともに、広域での観光、移住定住、就業支援などの取組みを進めます。
また、市民満足度の低い公共交通の面では、デマンドタクシーや循環バスなどの相互乗り入れの協議を進め、実現を目指します。

総合戦略事業		
観光関係機関支援事業	**資料－1の参考資料②…40ページ**	
総合交通計画推進事業	**資料－1の参考資料②…40ページ**	
ちば共創都市圏広域連携事業	**資料－1の参考資料②…41ページ**	
数値目標	**基準値**	**目標値**
九十九里地域で連携した観光イベントの開催	5回（R 1）	10 回（R 7）
公共交通に満足している市民の割合	33.4%（R 1）	40%（R 7）